

あいびす

No.60
2025

(令和7年)

01

JANUARY

02・03

年頭のあいさつ

会長 松本 英俊
茨城県産業戦略部長 大竹 真貴

04・05

年頭のあいさつ

各委員会より

06

フォローアップセミナー

初心の再確認と新たな飛躍へ

07

先進技術セミナー

情報社会とネットワーク科学：創造社会に向けて
ゼロトラストによるセキュリティ強化について
NTT-ATが考えるゼロトラスト対策。
効果的な対策について

08

国内視察研修会

Fujitsu Technology Park

09

人財関連セミナー

若手 vs 上司

本音をぶつけろ!

～お互いの話を
きいてみませんか?～

10

海外視察研修会

サンフランシスコ・シリコンバレー・ラスベガス

11

新入会員紹介

いばらきeスポーツリーグ2024共催

12

第38回 IBIS会員親睦ゴルフ大会

IBISボウリング大会2024開催

異動情報



年頭挨拶

会員満足度の向上を目指して

(一社)茨城県情報サービス産業協会

会長 松本 英俊



新年あけましておめでとうございます。

日頃から協会の運営につきまして格別のご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。今年で29周年を迎えることになり、これからも協会発展のため努力して参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

我が国の景気は内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」としています。各企業の情報化投資も増えており、IT産業は今年も好調が続きそうです。

昨年の事業を振り返りますと、活気に満ちた年となりました。

5年ぶりの開催となりました海外視察研修会は、米国の巨大IT企業に触れることができた大変有意義なものとなりました。会員企業の社員様に是非とも体験してほしい内容となっていますので、次年度もさらなる申し込みを期待します。

先進技術セミナーも5年ぶりの対面講演となりました。

12月には、茨城県の「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会」に協力し、「いばらきeスポーツリーグ2024」に参加することになりました。IBISとして初めての試みであるにもかかわらず、なかなかの盛り上がりとなりました。

委員会においては従来の採用・教育が主な活動である「総務広報委員会」を今年度より「総務採用委員会」「人材育成委員会」の2つの委員会に分けることでより活動を強化することとなりました。

今年度の新しい取り組みとして3点ご報告申し上げますと、協会の発信力を高める目的でホームページのリニューアルを行いました。デザインを大幅に見直しまして、協会の活動内容を広く発信できたと思います。

会員企業一覧では各企業の事業分野を表示することにより、会員企業同士の交流や協会外へのアピールに役立っているかと思われます。ホームページが新しくなったことで役員・運営側でも何か新しいことをやっていこう、という雰囲気が生まれた気がします。

新型コロナウイルスが5類に移行されて以降、各企業の採用活動が活発になり、特に私どものIT業界の採用は他業種からの人材獲得も加わり、まさにIT人材の争奪戦となっています。会員企業も苦戦を強いられているのが現状であります。協会としても、会員企業の採用の手助けになればと思い、このたび、IBIS求人サイトを開発し、公開する運びとなりました。

会員企業は無料で求人情報（新卒求人・転職求人・インターンシップ情報）の登録・公開がいつでもできます。

今後は求人サイト紹介のポスターを作成し、各教育機関への周知活動を積極的に行ってまいります。まだまだスタートして間もない取り組みですが、会員企業のみなさんからの意見を取り入れつつサイトを育てていきたいと思っています。

2か月間のITエンジニア研修も、今回新しい事業となります。これまで実施してきました2日間の「新入社員合同研修会」に加え、新たな取り組みとして、ITエンジニアとしての技術スキルを中心に、ヒューマンスキルの向上も図る「新入社員・合同ITエンジニア研修」をこの4月より実施する運びとなりました。会場も県南地区と県央地区の2箇所で開催することになりました。

本年も会員満足度の向上を目指して取り組んで参りたいと思います。会員各社のご繁栄と皆様のご健康とご安全を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

新年のごあいさつ

茨城県産業戦略部長 **大竹 真貴**

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県情報サービス産業協会の皆様には、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素より情報サービス産業界の技術力強化や人材育成等に積極的に取り組まれ、本県産業の情報化の推進及び競争力強化に向けてご尽力されておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

昨年を振り返りますと、約30年ぶりに株価が史上最高値を更新し、高水準の賃上げが実現するなど、我が国経済がデフレ脱却への転換点を迎えた一方、「2024年問題」など、様々な場面で人手不足の影響が顕在化しました。

急激な人口減少をはじめ、物価高騰、頻発化・激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く社会情勢は急激に変化しており、乗り越えなければならない課題も山積しております。

こうした中、IT、IoTやロボットに加え、Chat GPTをはじめとする生成AIなどのデジタル技術は、豊かで経済力のある社会の構築に向けて、本県の生産性を更に向上させ、経済が好循環する環境づくりを進めていくために欠かせないものとなっております。

県といたしましても、県産業技術イノベーションセンターにおいて、県内企業の技術革新を牽引するために、少量のデータから精度が高いAIを構築する方法などの先導的な研究や、センター内に設置した模擬ス

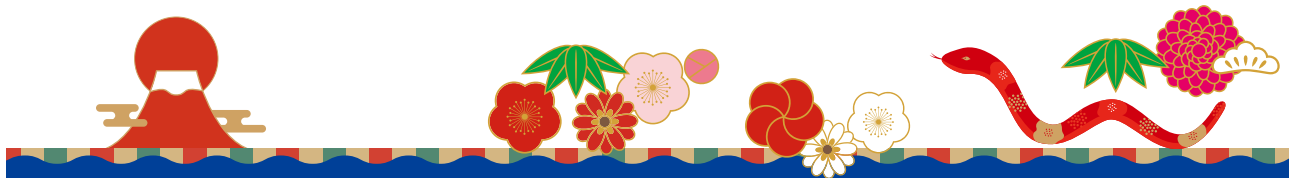
マート工場を活用した自動化システム導入などの支援を行っております。加えて、製造現場のデータの見える化などの実践的な研修のほか、IoTやAIに関するセミナーを実施することで、企業のデジタル技術活用による生産性の向上を支援しております。

さらに県では、成長産業・分野への円滑な労働移動を促し、県内産業の生産性と賃金水準の向上を実現するため、産学官連携による「茨城県リスクリング推進協議会」の下、デジタル分野をはじめとするリスクリングを強力に推進しており、その意義や必要性に対する意識を高める「意識啓発・機運醸成」とデジタル分野を中心とした「スキル習得支援」を施策の2つの柱に据え、施策を展開することにより、リスクリングを加速させ、本県経済の更なる成長につなげてまいります。

加えて、来年春には、県立産業技術短期大学校（IT短大）を大学校へと移行し、より高度な知識・技能と実践力を備えた人材の輩出を図ってまいります。

県といたしましては、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、貴協会におかれましても、県内の情報サービス産業の牽引役として、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。



各委員会より

● 事業推進委員会

委員長 森 淳一



明けましておめでとうございます。
日頃より会員の皆様には、事業推進委員会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は日経平均株価が最高値を更新する一方で、更なる物価高に悩まされる一年となりました。

会員各社におかれましては、人手不足の中で賃上げ含む労働環境の改善、従業員満足やエンゲージメントの向上に取り組んでいる状況かと存じます。そういう状況の中、事業推進委員会は例年開催していた「得意技・先進技術交流会」を一旦お休みし、初めての試みとして採用活動と会員企業社員の交流を目的にeスポーツ大会を企画し、

県の事業に相乗りする形で開催することができました。簡単に報告申し上げます。

【いばらきeスポーツリーグ2024共催】

いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会主催の「いばらきeスポーツリーグ2024」に共催する形で2024年12月8日(日)アダストリアみとアリーナのメインアリーナにて開催いたしました。

IBIS会員含む20社と地元大学生やIT未来高校の生徒と3つのゲームタイトルで白熱した闘いが繰り広げられました。

今年は「得意技・先進技術交流会」の開催を考えておりますので、是非ご参加について前向きにご検討いただければ幸いに存じます。

引き続き、皆様からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。引き続き、皆様からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

● 技術研究委員会

委員長 清水 哲雄



新年あけましておめでとうございます。
日頃より会員の皆様には技術研究委員会の活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちの生活で「もっと便利に、早く、安く、楽しく、どこでも、安全に」するためにICTの利用技術は、常に新しい技術やトレンドによって進化していきます。

技術研究委員会の活動に於いても、これらの先進技術やトレンド、課題を意識し、各種研修事業等の実施に取り組んでまいります。

まずは新年を迎えるにあたり、昨年の技術研究委員会の活動を以下の通りご報告申し上げます。

1. 先進技術セミナー 5年ぶりの対面講演

11月28日(木)、水戸市民会館で開催しました。

- 1部「情報社会とネットワーク科学：創造社会に向けて」
- 2部「最近のセキュリティ動向及びゼロトラストによるサイバーセキュリティ対策」

2. 国内視察研修会

11月14日(木)、富士通テクノロジーホールにて「時代を代表する製品から世界で活躍する最新のICTまで」を視察いたしました。

3. 海外視察研修会 5年ぶり開催

11月10日(日)から6日間、「サンフランシスコ・シリコンバレー・ラスベガス」を視察してきました。

*詳細は各事業報告をご参照ください。

● 総務採用委員会

委員長 小野瀬直人



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には日頃からご協力を賜りまして誠に有難うございます。国内では、労働人口は減少を続け、高齢化はさらに上昇しているだけでなく、出生数は76万人を切り、将来の人材確保は難しい状況に陥り、人材不足は喫緊の課題となっております。多くの企業で、人手不足の課題解に向け試行錯誤しているかと思われます。当委員会では、少しでもお役にたてるように本年度も様々な工夫をし、活動を展開して参ります。

新年を迎えるにあたり、昨年の総務広報委員会の活動状況と今後の予定を下記の通りご報告いたします。

1. 会報発行

会報59号発行(2024年8月)、新年号60号発行(2025年1月)今年度も電子データ(PDFデータ)のみの提供となりました。

2. 福利厚生事業 ボウリング大会

2024年9月11日に、水戸地区54名、土浦地区48名の総計102名で盛大に行われました。

3. IBIS 合同企業説明会

昨年と引き続き、学校単位での開催方法とし、5つの学校と連携しております。開催時期は2025年1月から3月を想定しております。

以上の通りご報告申し上げますと共に、引き続きご協力をお願い申し上げます。引き続き、皆様からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

● 人財育成委員会

委員長 山崎 武志



新年明けましておめでとうございます。

日頃より皆様には、人財育成委員会活動にご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当委員会は、今年度より元の総務広報委員会から分立し、特に人材の育成に力を入れ活動しております。

昨今では様々な要因からコミュニケーション不足となり、対人関係が希薄になりつつあるという話を多く耳にします。

今後も個を大切にしながら、あえて対面を重視しての活動を積極的に展開して参ります。新年を迎えるにあたり、これまでの人財育成委員会の活動状況を下記の通りご報告いたします。

1. 新入社員合同研修会

社会人としての基礎を身につけ、学生から社会人へ切

り替え、及び会員企業新入社員の交流を目的に、2024年4月2日～4月4日（2泊3日）「茨城県立中央青年の家」にて65名の参加で行われました。

※来年度も同時期、同場所にて開催の予定です。

2. フォローアップセミナー

新人・若手社員としての日常行動の振り返り、今後の目標設定となる更なる気づきを得る研修として、2024年10月24日・25日（どちらか1日）「JAグループ茨城教育センター」にて両日合わせて61名の参加で行われました。

※来年度も同時期、同場所にて開催の予定です。

3. 人材関連セミナー

今回初めての試みとして、講師を招かず会員社員どうしのディスカッション形式にて、上司・部下それぞれ様々な悩みを話し合い、またそこから相互理解を深める事を目的とし、2024年11月15日「ホテルレイクビュー」にて15名の参加で行われました。

※今後もベースは本形式にて開催の予定です。

以上の通りご報告申し上げますとともに、引き続きご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

● 会員増強委員会

委員長 柏村 洋一



新年明けましておめでとうございます。

日頃より会員の皆様には、会員増強委員会の活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今のIT業界では、企業DXのさらなる進展、AI、IoTの進化等、新しい技術への対応が必要になる一方で、2025年問題に象徴されるよう超高齢化社会によって生じる深刻な働き手不足などの諸問題も表面化してきており、会員企業の皆様におかれましても様々な対応が必要になってくる年になるかと考えています。

さて、ここで新年を迎えるにあたり、当委員会の昨年の活動状況を報告致します。当委員会では新規会員獲得に向けて、企業訪問等様々な活動を行ってまいりました。おかげさまで正会員が80社、賛助会員7社の合計87社となりました。

また、会員増強と会員相互の親睦を目的として、年2回のゴルフ大会を開催しています。昨年11月26日には26名と多数の皆様にご参加頂き盛んに執り行うことができました。今年も3月、11月に親睦ゴルフ大会を計画しております。会員の皆様のみならず、入会を希望される企業様をお誘いいただき多数のご参加をお願いいたします。

今後とも会員の皆様にとって魅力ある活動を行っていきたいと思いますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、2025年のIBISの益々の発展と、皆様のご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

● 会計委員会

委員長 古橋賢一郎



新年あけましておめでとうございます。2025年の始まりにあたり謹んで新春のお慶びを申しあげます。また、2024年における当協会の諸事業に対し、会員の皆様にご支援・ご協力を賜りましたこと誠に感謝申し上げます。

今年も会員の皆様にご満足頂けるサービスを心がける所存でございますので本年も引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新年を迎えるにあたり、昨年の会計委員会の活動状況と今後の予定を下記の通りご報告いたします。

会計委員会として昨年12月までの活動状況は次の通りです。

1. 協会収支の検査及び指導

事務局と共に2回（7月、10月）の財務状況の調査研究（来期収支予算含む）を実施

2. 委員会別事業予算

委員会別の事業予算書のまとめ（2月）

3. 四半期予算実績対比

四半期毎に委員会別に事業費の予算実績対比を実施（7月、10月）

今後は決算までに2回（1月、3月）の財務調査研究と決算の準備、並びに来年度の委員会別事業予算書を取り纏め、各委員長及び事務局と連携を深めながらIBISの更なる発展に寄与していきたいと思ひます。

以上、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度

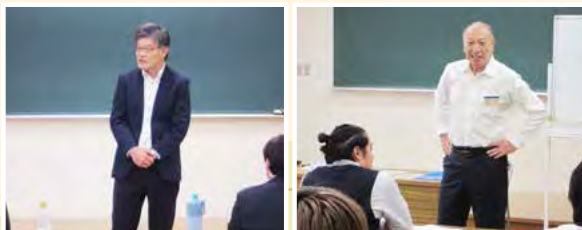
第13回 フォローアップセミナー 開催

テーマ：「初心の再確認と新たな飛躍へ」

会場	J Aグループ茨城教育センター
開催日	令和6年10月24日(木)・25日(金)
講師	カスヤ・マネジメント研究室 春谷 昇 講師
参加者	10月24日(木)： 7企業 30名 10月25日(金)： 6企業 31名 12企業 61名

今年も昨年同様、カスヤ・マネジメント研究室・春谷先生を講師に迎え、第13回フォローアップセミナーが開催されました。本セミナーは、『初心の再確認と新たな飛躍へ』をテーマに、若手社員が日頃の日常活動の振り返りと、今後のあり方を考えることを目的に開催しています。

研修はグループディスカッション・スピーチ・発声練習・コミュニケーションの重要性を学ぶ伝達ゲーム等を行いました。それぞれの課題に対して基本行動の大切さを再確認し、気付きを得る良い機会になったかと思います。特に環境変化の講義では、変化の激しい市場を生き抜くためには、一人ひとりが考えた多様な視点が欠かせません。個人の視点で考え、発信し、協働する流れの重要性を感じとれたのではないかと思います。



また、多くの受講生が4月に実施された新入社員合宿研修会に参加しており、各社の同期が「お久しぶりです」と声を掛け合い、4月の合同研修会で共に学んだ仲間との再会を喜んでいる姿は、新入社員合同研修会がいかに充実した内容だったかと思える場面でした。また、本セミナーの終了後には、所々で連絡先を交換している様子が見られ、より絆が深まった1日になったのではないかと考えます。

受講生の皆様には今回のセミナーで学んだことを活かし、半年後に入社を控えている新たな新入社員のお手本となるよう、更なる成長・飛躍を遂げることを期待しています！



受講者の『成長』を第一に考えた
ITエンジニア研修

★★★
お客様満足度
97%

曲
導入企業数
4,150社

人
受講者数
19,600人

2025
申込み受付中



IBIS様と連携し、協力関係のもと活動しています

新入社員向けITエンジニア研修

集合研修 ひたちなか会場(C#.NET・C言語)・つくば会場(Java)

オンライン研修 全国(Java・C#.NET・組込み・PHP)

- 体系的なカリキュラム
- 安心の研修サポート体制
- ヒューマンスキルの向上
- お客様サポートサイト

初級・中級エンジニア向け研修

オンライン研修 ITエンジニアに必要な開発技術を基礎から応用まで幅広くラインナップ！

eラーニング研修 月額サブスクリプションでIT技術や、ビジネススキルなどを手軽に学べる！



株式会社エンベックスエデュケーション
<https://www.embex-edu.com>

お問合せ
担当：長山

03-6384-1435

emTech Academy

検索

2024年度 先進技術セミナー

第一部 「情報社会とネットワーク科学：創造社会に向けて」

茨城大学 助教 水高 将吾 様

第二部 「ゼロトラストによるセキュリティ強化について」

NTTアドバンステクノロジー株式会社 統括マネージャー 福井 将樹 様

「NTT-ATが考えるゼロトラスト対策。効果的な対策について」

主査 寺田 慎一 様

開催日 2024年11月28日 (木)

会場 水戸市民会館 ユードムホール

参加者 83人



本年度の先進技術セミナーは、二部構成とし、第一部では、茨城大学 助教 水高 将吾先生をお招きし、「情報社会とネットワーク科学：創造社会に向けて」をテーマとして水高先生がご研究されているネットワーク科学について事例を交えて講演頂きました。ソーシャルメディアでのフェイクニュース等受講者の皆さんの身近な例やこれからの頑健なネットワークシステムがもたらす製造・農業・医療等の効率化は、参加の技術者のみならず経営者にも大きな刺激となるご講演でした。

第二部では、NTTアドバンステクノロジー株式会社の統括マネージャー 福井 将樹様、主査 寺田 慎一様をお招きし、「ゼロトラストによるセキュリ

ティ強化について」「NTT-ATが考えるゼロトラスト対策。効果的な対策について」をテーマとしてNTTアドバンステクノロジー株式会社様が実施されている具体的な事例やツールだけではなく社員の心がけが一層セキュリティの向上につながる等教育の重要性もご講演頂き情報サービス産業に携わる参加者の皆様も自社で活用すべく熱心に拝聴されておりました。

本年度は、5年ぶりの対面での開催となりましたが参加者は、コロナ前の参加者を大きく上回る参加者となりました。

次年度以降も流行に即した旬のテーマを選択し継続開催する予定です。ご期待ください。

県立IT短大

Ibaraki Prefectural Junior College of Industrial Technology

県立IT短大は「大学校」に変わります

POINT 1

国家試験の高い合格率
基本情報技術者試験に
多くの学生が合格して
います。

POINT 2

社会人基礎力の育成
コミュニケーション能力や
プレゼンテーション能力を
はじめ社会人基礎力の向上
を重視しています。

POINT 3

企業との連携
就職先企業や関係機関と
連携し、企業界と一体
となった人材の育成に
取り組んでいます。

IBA RAKI

令和7年度入学生は
内部進学の対象者
となります。

令和8年度大学校化 & 入学定員増員60名→100名

「情報テクノロジー大学校（IT大学校）」

県立IT短大の「大学校化」により「質」と「量」の両面からデジタル人材の育成を推進することとし、令和8年度の開校に向けて準備を進めています。「大学校」は既設の専門課程（2年）と新設の応用課程（2年）で構成され、内部進学することで通算4年間の履修が可能です。

その詳細はホームページよりご確認ください。

問合せ先

県立IT短大

<http://www.ibaraki-it.ac.jp>

茨城県立産業技術短期大学校

〒311-1131 水戸市下大野町6342

Tel. 029-269-5500

（平日 9:00～17:00のみ受付）



令和6年度

国内視察研修会

開催日

令和6年11月14日(木)

視察先

Fujitsu Technology Park

参加者

7社 15名

今年度の国内視察研修会では、川崎市中原区にある富士通株式会社の『Fujitsu Technology Park』を視察・見学しました。富士通が通信機器メーカーとして誕生して以来、過去、現在、未来に向けた取り組みがそれぞれのゾーンに分けて展示されていました。

1960年に製造されたFACOM（科学技術計算用リレー式計算機）などの歴史的なコンピュータから、最新の量子コンピュータやスーパーコンピュータの展示があり、富士通の技術力の高さを実感できました。また、エキマトペプロジェクトの実証実験で開発された製品や、AIを活用してスポーツ選手の技の認識や難易度を表示するシステム、交通量のシミュレーションからバス停の設置場所を判断するソリューションなど、富士通の技術革新とその応用範囲の広さを理解する貴重な機会となりました。

次年度以降も、最新技術や最新トレンドなどを取り入れた企画を通じて、会員の皆様のお役に立てる企画をまいります。



人材を採用したい

情報分野に興味のある方を対象に、半年間でスキルアップにより再就職を目指す職業訓練を実施しています。採用のご予定がありましたら、ぜひ、ポリテクセンター茨城の受講者をご検討ください。

キーワード

C言語 PHP Java 組込み IoT
Webアプリケーション SQL
データベース インフラ構築

情報分野の3コース

生産情報プログラミング科（組込み、IoT）
スマート情報システム科（Java、インフラ）
ICTエンジニア科（職場体験付き）

受講者の情報を
HPに掲載中



技術を短期で身に付けたい

主に在職中の方を対象に、リスクリングとして2〜4日間で専門的な技能を身に付ける能力開発セミナーを実施しています。

No	コース名	日程	受講料(税込)
E1031	機械制御のためのマイコン実践技術 (RL78マイコン C言語編)	R7.2/5(水). 6(木).7(金)	10,500円
E1411	センサを活用したIoTアプリケーション開発技術 (ESP32 MQTT編)	R7.3/8(土). 9(日)	11,500円
E1111	OSSを用いた人工知能(AI)活用技術 (強化学習と転移学習編)	R7.3/20(祝). 22(土). 23(日)	14,000円
E1551	クラウドプラットフォーム活用技術 (AWS編)	R7.3/25(火). 26(水)	12,000円

【会場】ポリテクセンター茨城（常総市）
【時間】9:15〜16:00

他にも多数ございます！

相談無料



／らしく、はたらく、ともに／
JEED

厚生労働省所管 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 茨城支部
ポリテクセンター茨城

ポリテク茨城
TEL 0297-22-8845

人財関連セミナー

若手 vs 上司

本音をぶつける

～お互いの話しをきいてみませんか？



会場 ホテルレイクビュー水戸

開催日 令和6年11月15日(金)



これまで人材育成に関する事業においては「総務関連セミナー」として総務関連全般にわたり様々なセミナーを実施してきましたが、この度セミナー名称を「人財関連セミナー」と改め、外部講師によるセミナー形式ではなく、人財育成委員会メンバーでアイデアを出し合いテーマを検討し内容の企画、運営までを行いました。

そして、今回のテーマは「若手vs上司 本音をぶつろ！」として企画しました。キャッチコピーは「今日だけは若いころの話を言わせてくれ！ by 上司」、「今日だけは多様な価値観を認めてください！ by 若手」。

育ってきた世代や環境が違えば価値観や考え方も違って当然です。最近では、いわゆるZ世代との接し方がよくわからない、といった悩みを持つ方が増えていくと聞きます。こういった背景において、若手社員と上司の双方がそれぞれの視点から本音をぶつけ合うことで、世代間のギャップを知っていただき、お互いの価値観を尊重し、相互理解を深めていただくことを目的として今回セミナーを実施しました。

7社15名（上司6名、若手9名）に参加いただき、第1部では、まず、若手3グループ、上司2グループに分かれてグループディスカッションを行いました。トークテーマはとくに設けずセミナーテーマに沿って若手同士、上司同士で言いたいことを出し合っていました。若手グループでは、最初は固い雰囲気の中でなかなか意見も出せなかった様子でしたが徐々に打ち解けて、お互いに同調し合ったり、本音を言いだしたりと、言いたいことが盛り沢山になったグループもありました。上司グループはというとフリートークイメージで悩みを打ち明けたり、若手に対する厳しさを強調したりと活発に意見交換をされていました。

ディスカッションで出し合った「言いたいこと」をグループごとに模造紙に書き出して発表しました。若手

グループからは「飲み会作法（そもそも飲み会って必要？）」「意見が言いづらい雰囲気なんとかして」「残業について」などがあげられました。上司グループからは「ネットの情報に頼らず自分の考えを持とう」「ワークライフバランスを勘違いしないで」「言葉遣い・態度について」などがあげられました。その後、上司と若手をミックスしたグループ分けをし、上司、若手それぞれが掲げた言いたいことに対してディスカッションを行いました。とくに飲み会についてはすべてのグループで意見交換が行われ、コミュニケーション手段として必要だが古い作法はいらない、飲み会だけがコミュニケーション手段ではないといった熱い意見交換が行われました。また、若手と上司の感覚の違いをどう埋めるべきか、本音を引き出すためには上司から歩み寄る姿勢が必要だ、コミュニケーションを深めて家族のような関係が理想、などお互いの価値観を尊重しあうような熱いディスカッションが行われセミナーは終了しました。

そして、第2部は懇親会です。14名の方に参加いただきました。

ディスカッションで少し築けたつながりをより深めようと、場所を変えて実施しました。会場内は大いに盛り上がり上司、若手の隔たりもなく、とてもいい雰囲気で行われました。

企画時点では少し不安がありましたが、結果、15名の会員の皆様にご参加いただき盛況のうちに終わることができました。

参加された皆様からいただいたアンケートでは「参考になった」「楽しかった」「会社でも取り入れたい」などといったご意見を多数いただきました。

少しだけかもしれませんが上司や若手の本音に気づけたものと思います。今後のコミュニケーション作りの一助になれば幸いです。

IBIS 海外視察研修

2024年11月10日▶6日間
サンフランシスコ、シリコンバレー、ラスベガス

今回の海外視察研修ではサンフランシスコとラスベガスを訪れ、多くの貴重な体験をすることができました。

最初に待ち構えていたのは、約10時間のフライト。時差ボケを感じながら、サンフランシスコに到着です。

サンフランシスコでは、BART (Bay Area Rapid Transit)・Uber・WAYMOの3種類の交通機関を利用しました。

BARTは日本でいう電車なのですが、都市間の移動に非常に便利で、効率的な交通手段としての重要性を実感しました。Uberはスマホアプリを通じて簡単に利用できるタクシーで、移動の自由度が高かったです。WAYMOは無人の自動運転車タクシーで未来の交通手段を体験する貴重な機会となりました。特に町中の至るところでWAYMOを見かけることができ、無人自動運転技術の進歩を感じるとともに誰でも利用できるサービスとして普及していることにとても驚かされました。

企業訪問では、Salesforce社を視察し、最新のクラウド技術やビジネスモデルについて学びました。AI技術の重要性とその活用方法について深く理解することができました。その他、Apple Parkも見学し、イノベーションの現場を直接見るのができたことは非常に刺激的でした。

次にラスベガスでは、ソフィアラスベガスの視察を行いました。ここでは最新のエンターテインメント技術やAI会話ロボットなど最先端の技術に直接触れることができました。

またグランドキャニオンへの観光も行い、その壮大な自然の美しさに感動しました。大自然の中でリフレッシュすることができ、視察の合間の良いリフレッシュとなりました。

食事については、ハンバーガーやパンケーキ、クラムチャウダー、ステーキなど様々なアメリカ食を堪能し、中でもア



メリカンサイズのどでかいお肉を食べたことが今でも印象に残っています。またチップも含めると1食5,000円以上になり、アメリカの物価の高さについても毎回驚きを感じていました。どの食事ともとても美味しかったです。参加メンバーと共に食事を交わしたことが何よりの思い出です。

最後にラスベガスからサンフランシスコ経由で日本へ到着、約15時間のフライトと長時間の移動は疲れましたが、今回の研修ではそれに見合う充実した日々を送ることが出来ました。総じて、最新の技術やビジネスモデルについて多くのことを学び、今後の業務に活かせる新たな視点を得ることができました。

この経験を基に今後もさらに成長していきたいと思っています。



名鉄観光 その社員旅行！弊社におまかせください！！

社内イベントとして今、社員旅行がお勧めです！！

＜社員旅行成功の秘訣＞

目的(テーマ)を決める

- ① コミュニケーション
- ② 一体感の醸成
- ③ リフレッシュ

成功させるヒント

- ① アンケートを取る
- ② 自由時間を作る
- ③ 仲の良い人同士の部屋割

福利厚生費(会社経費)にするコツ

- ① 4泊5日以内
- ② 50%以上の参加
- ③ 1人／10万円以内

2025年のお勧め旅行先

- ① 大阪・関西万博 (4/13～10/13)
大阪ベイエリアの夢洲で開催
テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」
- ② 沖縄 JUNGLIA (ジャングリア)
コンセプト：「Power Vacance!! (パワーバカンス)」
やんばるの大自然の中でアトラクションを楽しめる
- ③ 博物館明治村 (名鉄グループ) となごやめし
開園60周年を迎えるレトロ建築を移築復元した明治村。
手羽先、味噌カツ、ひつまぶしなどのグルメと共に。

その他、ご希望の地域でご提案します！

夏頃
OPEN

お手伝い可能な社内イベントの一例

- ・社員旅行
社内コミュニケーションを円滑にする
- ・忘年会旅行
社長が社員の労をねぎらう機会
- ・幹部研修旅行
先進事例の視察やベクトル合わせ
- ・周年旅行／イベント
イベント開催で一致団結
- ・社内運動会
廃校のグラウンドを活用して地域貢献も兼ねて
- ・スキー日帰り旅行
運転に不安な方も貸切バスで安心♪

お問合せ

【IBIS 海外視察研修 取扱旅行会社】
名鉄観光サービス(株)水戸支店

電話：029-221-4528 担当：結城武文
メール：takefumi.yuki@mwt.co.jp

新入会員の紹介

株式会社マクニカ 水戸オフィス

代 表 者	原 一将
設 立	1972年10月30日
資 本 金	111億9,426万8千円（2024年3月31日現在）
社 員 数	4,768名（2024年3月31日現在）
事業内容	半導体・集積回路などの電子部品の輸出入、販売、開発、加工、電子機器並びにそれらの周辺機器及び付属品の開発、輸出入、販売、その他
所 在 地	本社：〒222-8561 横浜市港北区新横浜1-6-3 マクニカ第1ビル 水戸：〒310-0803 水戸市城南2-1-20 井門水戸ビル8階

マクニカは創業以来、世界中の最新テクノロジー・製品に独自の付加価値を与え、国内外のものづくりを支援してきました。国内で初の「技術商社」という新しい概念を作り、お客さまの潜在需要をも掘り起こして提案できる「デマンド・クリエーション型企业」として成長しました。

マクニカは、これまで提供してきた電子製品やネットワーク機器等の製品やネットワークの「もの」という枠組みを超え、サービスが最終的に提供されるエンドユーザーにまで視野を拡げていきます。そして、お客さまの事業の拡大やブランドを強化していくうえでの課題の解決や理想的なサービスモデルの創出を前提とした「こと（サービス）」の提案にもより一層力を入れていきます。

デジタルテクノロジーの革新は社会課題を解決する可能性をも秘めています。人と技術と経験をつないで、サービスを提供し、地球の持続的成長の課題も解決していくサービス・ソリューションカンパニーとなること。それがマクニカの描く将来像です。

いばらき eスポーツリーグ 2024



『いばらきeスポーツリーグ2024』が2024年12月8日(日) アストリアみとアリーナにおいて約500名の来場者を迎えて盛大に開催されました。

本大会は茨城県産業政策課が事務局を務める「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会」が主催しIBISが共催した初の大会で、IBIS会員企業からは10社にご参加いただきました。

企業だけではなく、大学生やIT未来高校の生徒も参加し、企業・団体49チーム、学生38チームが、「鉄拳8」「スイカゲーム」「Just Dance 2025」の3つのゲームタイトルに分かれて熱戦を繰り広げました。さらにプロのeスポーツ選手やキャスターがMCや実況解説を務めたことで、会場は一層盛り上がりました。



企業同士の交流（対戦前に名刺交換をする光景も見られました）はもちろんのこと、学生と企業との交流も盛んに行われ有意義なイベントになったと考えております。

なお、対戦型格闘ゲームの「鉄拳8」部門では、見事アイ・イー・シーさんが優勝されました。おめでとうございます！

今回の参加企業の皆さんからのアンケート結果を参考にし、次回がさらに良い大会として開催できるよう努力していきたいと考えております。

ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました！

第38回

IBIS
会員親睦
ゴルフ大会

もうすぐ12月というのに日差しが暖かく晴天に恵まれた11月26日(火)に、第38回IBIS会員親睦ゴルフ大会が宍戸ヒルズカントリークラブ東コースにて、総勢26名が参加して盛大に行われました。東コースは10月にJLPGAヒルズレディース森ビルカップが行われたコースで、奥につければ3パットもやむなしという傾斜のある早いOLDグリーンが相手でしたが、どの組も難しい

コースを楽しみ、歓声をあげながら親交を深めていました。ラウンド終了後は、パーティールームにて成績発表が行われ、軽食を取りながら歓談し、豪華賞品を受け取り盛り上がりしました。なお、3月にも新入会員の勧誘と会員同士の親睦を目的としてゴルフ大会開催したいと考えております。皆様には積極的にご参加いただき、また、IBISの益々の発展のために入会をお考えの会社様を鋭意ご紹介いただければと思っております。

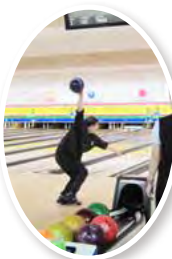
IBIS
ボウリング大会
2024開催

ボウリング大会2024が、9月11日(水)に、つくば・水戸の2会場において開催されました。

全体の参加人数102名(水戸54名、つくば48名)で、会社別チーム対抗、個人戦ともに、熱戦が繰り広げられました。

各社の交流を深める事ができました。

両会場の上位入賞者は、以下のとおりです。



個人優勝水戸：増井↑

つくば会場

パニックボウルつくば



団体優勝つくば：ソフィア↑

団体の部	優勝	(株)ソフィア A
	準優勝	(株)ユードム B
	3位	関彰商事(株) A
(男子)の部	優勝	大塚 秀夫 (株)ユードム
	準優勝	佐藤 大輔 (株)ソフィア
	3位	王 東 (株)ユードム
(女子)の部	優勝	香川 美香 (株)ソフィア
	準優勝	小見川真那 (関東情報サービス(株))
	3位	羽田 貴子 (筑波総研(株))

水戸会場

水戸グリーンボウル



団体優勝水戸：ユードム↑

団体の部	優勝	(株)ユードム A
	準優勝	(株)ユードム B
	3位	常陽コンピューターサービス A
(男子)の部	優勝	増井 陸 (株)ユードム
	準優勝	檜山 陽葵 (株)ユードム
	3位	石黒 大祐 (株)ユードム
(女子)の部	優勝	清水 順子 (関彰商事(株))
	準優勝	大高千賀子 (株)ケーシーエス
	3位	大塚 萌 (株)ユードム

異動情報

2025年1月1日現在

Change information

● 入会 正会員 (敬称略)

● 株式会社マクニカ 水戸オフィス 主席 植原 雅弘 2025年 1月 1日

● 協会代表者変更 (敬称略)

● ICRテクノロジー株式会社 開発センター長 村田 智浩 2024年 11月 15日

● 社名変更

● アルテンジャパン株式会社 茨城本社 (旧会社名：株式会社東日本技術研究所) 2025年 1月 1日

編集
後記

あけましておめでとうございます。2025年の干支は乙巳(きのとみ)です。乙巳は「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いをもつ年とされています。みなさまにとって成長と結実の年となることを祈念いたします。本年もよろしくお願いいたします。